

Rosario Quarterly Information



広報  
ロザリオ

社会福祉法人  
ロザリオの聖母会  
千葉県旭市野中4017  
Tel (0479) 60-0600  
ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
Eメールアドレス  
honbu@rosario.jp

社会福祉法人ロザリオの聖母会  
平成26年度事業・決算報告書

## I 事業の概要

### 1. 概括

#### 1-1 福祉・医療情勢

2012(平成24)年11月30日、内閣の下に設置された「社会制度改革国民会議」は2013(平成25)年8月6日付で「社会制度改革国民会議報告書～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～」をとりまとめた。

この提言の内容は社会保障・税一体改革の下で「安定した財源を確保しつつ受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立を図る」ことを目的としており、基本的な方向は自助自立と公助部分の抑制にあると言われた。

この報告を受けて厚生労働省は2013(平成25)年9月27日に「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」を立ち上げ、社会福祉法人に対する風当たりが強まる中、「地域貢献の在り方や財務諸表の透明化」などについて月一回のペースで議論を行い、2014(平成26)年7月4日に報告書を取りまとめた。

その中で取り上げられた社会福祉法人の在り方をめぐる見直し論の概要は以下のとおりであった。

- ①地域における公益的な活動の推進
- ②法人組織の体制強化
- ③法人の規模拡大・協働化
- ④法人運営の透明性の確保
- ⑤法人の監督の見直し

続いて、2014（平成26）年8月27日、社会保障審議会福祉部会において「社会福祉法人制度改革」についての議論が開始され、計14回にわたる審議の結果2015（平成27）年2月12日、「社会保障審議会福祉部会報告書～社会福祉法人制度改革について～」を取りまとめるに至った。

この審議会の議論の流れは

- ①公益性、非営利性の徹底
- ②国民に対する説明責任
- ③地域社会への貢献、の三つの要素があったと言われ、

結論（報告書）の柱としては

- ①経営組織のあり方の見直し
- ②運営の透明性の確保
- ③公正な支出管理、が挙げられた。

具体策としては、評議員会、理事会の役割見直しや役員報酬、会計監査人に関することなどが盛り込まれることになった。

本報告に基づく法制化は今年中に行われて、施行は2016（平成28）年4月と2017（平成29）年4月の二段階になるとのことである。

この間、特養に端を発した社会福祉法人の内部留保問題はその後の専門機関による調査によって根拠のない感情論、イメージ戦略であることが伝えられたが、一度醸成された国民のマイナス感情が追い風となって27年度報酬改定減額の根拠にされるに至った。また、社会福祉法人と民間企業とのイコールフットィング論は課税問題に波及し、今回はひとまず沈静化したようだったがいずれ再燃する可能性を関係者は危惧している。

このような環境の下で行われた27年度報酬改定は、まず過去最大幅の減額といわれる介護報酬の2.27%切り下げが報じられ、2月に入ると障害福祉サービス費のゼロ改定が知らされることになった。

両改定とも処遇改善加算（直接処遇職員の給与を上げるための加算）を含めた上での数値であり報酬本体部分は減額傾向が強かった。

障害福祉サービス費の中では利用者の日中活動を支える生活介護や就労系の減額幅が大きく、地域生活を支える大切なサービスのマイナス改定は理解しがたいものであった。

試算によると70人規模の特養では年間1500万円の減収、障害福祉関係では50人規模の入所施設で、補足給付分も含めると1000万円近く減収するとの情報が飛び交う状況であった。

一方、精神医療の分野では精神科病床削減に向けて、厚労省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課から2014（平成26）年7月14日付けで公表された「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性（とりまとめ）」において、入院医療の必要性が低い精神障害者の居住の場の選択肢を増やすという観点から、病院敷地内でのグループホームの試行的な実施について指摘がなされたが、障害者権利条約の規定に反するとの意見等賛否両論ある中で、27年度は「地域移行及び病院の構造改革に係る取組を総合的に実施し効果を検証」「入院中の精神障害者の意思決定及び意思表示に関するモデル事業」等々が概算要求されることになった。

## 1-2 ロザリオの聖母会

これらの環境の中で26年度本会の活動に目を向けると、新規事業としては、児童分野でロザリオ発達支援センターを開設するために国庫補助金による園舎新築工事を遂行し、3月27日に落成式を行った。このセンターは旭市障害福祉計画に基づき、従来行っていたふたば保育園（児童発達支援、放課後等デイサービス）とロザリオ発達支援センターの相談支援事業に加えて保育所等訪問支援事業を統合して一体的に運営することにより地域の児童福祉サービスの向上を図ることになった。

入所系においては、精神科病院海上療養所の入院患者減少傾向は今年度も続き、年度当初150人台から年度末には130人台になった。また、新規に立ち上げの地域診療部は経営面での課題を残す一年となった。

福祉系入所施設では、聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園ともに居室・設備改修工事等に取り組んで居住環境の向上に努めた。また、短期入所、日中一時支援や特別支援学校の夏期・冬期休業中児童を受け入れるなど地域の拠点としての役割を全うした。

年度末近くには千葉県から袖ヶ浦事業団の定員削減の呼びかけ（県内民間施設への利用者転所）が届き、一部の施設ではこれにチャレンジしようとする動きが見られた。

通所系事業所は、定員オーバーで利用日数を制限せざるを得ない事業所、安定的に100%台の利用率を記録する事業所、あるいは定員に満たない事業所等表面的な姿は様々だったが、それぞれ工夫を重ねて利用率向上や利用者のニーズに応えるよう努めた。

中でも、みんなの家は就労移行支援事業の定員割れに対応するため定員枠の組み替えを検討した。また聖ヨセフつどいの家は利用率向上のため作業活動を取り入れることを検討するなどして新年度に備えた。開設二年目の旭市こども発達センターは市の要綱を修正して他市の児童受け入れを可能にするなどの対応をとった。

その後、27年度報酬改定の実態が知らされるにしたがって、生活介護事業を実施する事業所は営業時間の長短により単価減額が行われることが判明したため開所時間の変更や送迎サービスの見直しなどを検討して新年度に備えた。

居住系では、ナザレの家あさひが新規グループホームを開設したほか、いわゆる触法障害者や長期入院患者の受け入れに取り組み、地域移行の受け皿としての役割を果たした。また、利用者が地域で生活するが故に発生する多様な事例や摩擦にも対応しつつ利用者本位の支援に努めた。ナザレの家かとりでは地域移行を体験するためのグループホームを1カ所立ち上げた。

しかし、事業の主たる担い手である世話人不足は両事業所とも根本的に解決できず、絶えず募集し続ける状態は変わらなかった。

訪問・相談系は、障害福祉分野では26年度、サービス等利用計画作成に明け暮れたという印象があったが、年度末、地元旭市は目標を100%達成したとの情報が伝えられた。法人内利用者の計画も友の家、香取障害者支援センターによって概ね希望を満たすことができたと思われる。

総じて相談系事業所は予算も人員も余裕のない中で運営せざるを得ず、それが担当職員個々の疲

弊につながって、一部事業所では職員が入れ替わるなど不安定要素が強かった。

27年度は体制の組み直しや法人内事業所相互の協力関係をより強めることによって解決の道を切り拓く必要がある。

また、年度末近く、東総就業センター、香取就業センターともに労働局によって職場定着支援担当者1名が加配される予算措置がとられたため職員を急募することになった。

運営面では、10月から理事長及び内部理事による法人運営会議を新設して意思決定の迅速化を図り、従来の法人運営会議は施設・事業所長会議に名称を変更して法人全体あるいは施設横断の事項の合意、意思統一を図る機関とした。

また、給与関連事務を本部で一元化する計画を実行するために担当者による準備委員会を開いて27年度施行に向け協議を行った。

4月に発生したロザリオ訪問介護事業所利用者の暴行事件とその後の対応では地域生活支援の難しさが露わになったが、法人として7月1日付で弁護士事務所と顧問契約を結んで法律的な助言、支援を受ける体制を整える契機となった。

最後に、26年度の地域との関係に目を向けると、6月に行われた後援会役員による高萩福祉センター視察、7月の地元説明会では区長、組長等が多数参加、9月のロザリオ福祉まつりや施設行事への地元からの支援（ボランティア）、施設防災訓練における地区消防団の参加、市民有志を交えたちば醤油プロジェクトその他、具体的な関わりを通じて深まる交流は、本会の活動が地域の方々から一定の理解を獲得しつつあることを実感させるものがあった。

### 1-3 施設・事業所

経営会議での協議・報告事項等を列記して報告とする。

#### ①海上療養所

- 組織再編（地域診療部の創設）
- 入院患者数150人台から130人台
- 診察日の拡大等により外来受診者増
- 転倒事故
- 院内禁煙の検討

#### ②ワークセンター

- 年間利用率111.8%に上昇
- 平均工賃172円（前年167円）
- 就労事業売上1500万円（前年比12.7%増）
- 利用者工賃と就労会計の収支バランス
- 利用者1名が一般就労

## ③聖母療育園

- 利用者の高齢化と感染症への対応
- 短期入所で医療的ケア利用希望増加傾向
- 障害児リハビリテーションの充実
- 看護師不足と奨学金制度による看護職員養成
- 給水・給湯設備更新工事

## ④聖母通園センター

- 定員超の利用希望
- 一日当たり利用者12.9人に増加
- 利用者全員に相談支援専門員決定
- 聖母通園センター以外の法人内事業所利用者送迎
- 27年度報酬改定に対応して営業時間見直し

## ⑤ふたば保育園

- 年度末に新園舎竣工
- 共同募金会からリフトカー助成
- 児童発達支援センター開設準備
- 26年度一日当たり利用者数9人超
- 27年度減算に備えて児童発達支援開所時間の延長検討

## ⑥旭市こども発達センター

- 開設2年目
- 一日当たり利用者数年度末に5人超
- 匝瑳市、銚子市から3名の利用
- 兄弟通所の課題
- 期中に管理者交代

## ⑦ロザリオ発達支援センター

- 療育相談支援機能強化事業補助金引き上げ
- 障害児サービス等利用計画作成
- 26年度相談実人数270人（前年182人）
- 市町の求めに応じてサービス事業所への施設支援や乳幼児検診時の心理相談
- 児童発達支援センター準備

## ⑧聖マリア園

- 園内禁酒の徹底
- 薬に関するヒヤリハット
- グループ体制による1対1のフリータイム外出、買い物支援
- リフトカー・入浴リフト整備と浄化槽更新工事

○納涼祭、クリスマス会で出張料理

⑨聖家族園

- 人員配置2対1から1.7対1に向上
- 入所者の地域移行推進（1名）
- 個別外出
- 薬、転倒に関するヒヤリハット
- 居室改修工事完了

⑩みんなの家

- 移行事業通所率75.95%、継続B型事業通所率101.63%
- 26年度利用者工賃241円（前年191円）
- 就労移行支援事業で10名の就職者
- 就労移行と就労継続B型の定員組み替え検討
- 宿泊型自立訓練施設の調査

⑪聖家族作業所

- 26年度利用率115.6%
- 第三者評価受審（2回目）
- リフトカー整備
- 利用者1名就労移行事業所へ転所
- 土曜通所の充実

⑫ナザレの家あさひ

- グループホーム一元化制度改正に伴い「介護サービス包括型」選択
- 民間アパートを借り上げ折戸ハウスⅠ・Ⅱ開設で定員82名
- 触法障害者（4名）、法人内利用者（3名）の受け入れ
- 海上療養所と医療連携
- 業務委託解消案検討

⑬ロザリオ高齢者支援センター

- 新規利用希望や処遇困難ケースの協力依頼が増大
- 旭中央病院認知症疾患センター準備会協力
- 東総権利擁護ネットワーク、ちば醤油プロジェクト等地域活動
- 屋根・外壁改修工事
- 27年度ケアマネ4人体制で新・特定Ⅱ事業所加算検討

⑭ロザリオ訪問介護事業所

- 行動支援利用者の暴力行為への対応
- ヘルパー不足と高齢化

- 強度行動障害支援者研修参加
  - 屋根・外壁改修工事
  - 27年度介護報酬マイナス改定による登録ヘルパー時給減対策検討
- ⑮デイサービスセンター・ローザ
- 異動職員の退職で他施設から応援
  - 一日当たり利用者数11.1人で利用率73.8%
  - 旭市七夕まつり飾り付けコンテスト応募
  - OTによる個別機能訓練
  - 定期的ボランティア活動
- ⑯佐原聖家族園
- 小舎トイレ改修工事二度の入札不調のため不落随意契約で執行
  - 香取障害者支援センターへ職員派遣
  - 香取市から福祉避難所用備品貸与
  - 地域移行1名
  - 薬、転倒の事故増加
- ⑰聖ヨセフつどいの家
- 開設2年目で一日当たり利用者数16.4人
  - 共同募金会からリフトカー助成決定(27年度整備)
  - 職員動向と保護者会からの要望
  - 駐車場整備
  - 香取市から福祉避難所用備品貸与
- ⑱ナザレの家かとり
- グループホーム一元化制度改正に伴い「介護サービス包括型」選択
  - こなぐちハウス開設(26年9月)で定員20名
  - 利用者の窃盗未遂等触法行為への対応
  - まきのハウス国庫補助金でスプリンクラー設備工事完了
  - はしがえハウスにセキュリティーシステム導入
- ⑲友の家
- 職員加配で法人内外の計画相談対応(41市町村)
  - サービス等利用計画330件達成
  - 旭市、銚子市がサービス等利用計画100%達成
  - 合同研修会でサービス等利用計画の状況を発表
  - 屋根・外壁改修工事

## ⑩海匝ネットワーク

- 旭市生活保護受給者就労支援事業で実績
- 被災要援護者等生活再建相談支援事業（旭市）予算減額の中で継続
- 銚子市生活困窮者自立相談支援事業に応募するもNPO法人が受託
- 中核センター事業補助金27年度減額
- 深刻、複雑な相談が増加

## ⑪東総就業センター

- 就職28件、職場実習44件
- 5月理事会で職員加配分の補正予算審議
- 就職後定着支援の比重が増大
- 海匝圏域障害者雇用促進セミナー開催で企業へ啓発活動
- 年度末に27年度主任職場定着支援担当者1名配置（新規予算化）の内示

## ⑫香取障害者支援センター

- 年度途中で相談支援職員の交代
- 高萩福祉センター内の協力、佐原聖家族園職員兼務等により事業推進
- サービス等利用計画等210件対応
- 職員異動等による事業所の業務体制再構築
- 2月グループホーム支援ワーカー異動

## ⑬香取就業センター

- 就職33件、職場実習28件
- 職場定着促進のための勉強会開催で利用者支援
- 香取圏域障害者雇用促進セミナー開催で企業支援
- 香取圏域就労移行支援事業所等連絡会開始で事業者支援
- 26年度就業支援担当者1名加配、企業支援員配置

## ⑭本部

- 役員改選
- 新会計基準に移行
- 27年度給与事務本部一元化準備
- ふたば保育園新築工事に伴う施設管理事務所、防災倉庫解体と移転
- ロザリオ福祉まつり運営方式の変更



## 2 法人概要

2-1 法人所在地 千葉県旭市野中4017

2-2 法人設立年月日 昭和27年5月29日

### 2-3 沿革

- 1929(昭和4)年 戸塚文卿神父が東京市外荏原にナザレトハウスを開設
- 1931(昭和6)年 矢指村野中に小家屋新築、ナザレトハウス移転
- 1935(昭和10)年 ナザレトハウスを増築し、病院組織に(海上寮・うなかみりょう)
- 1947(昭和22)年 宗教法人「聖フランシスコ友の会」が日本医療団より海上寮買い戻し
- 1952(昭和27)年 「社会福祉法人ロザリオの元后会」創設ー小原ケイ理事長就任(5月29日)
- 1956(昭和31)年 結核病院である海上寮療養所に精神神経科を併設
- 1971(昭和46)年 結核病棟を廃止精神神経科の病院となる
- 1986(昭和61)年 小原清成理事長就任(12月15日)
- 1988(昭和63)年 重症心身障害児施設「聖母療育園」を開設  
(現:医療型障害児入所施設・療養介護「聖母療育園」)
- 1989(平成元年)年 法人名を「ロザリオの聖母会」に改称、法人事務局新設
- 1990(平成2)年 第1回ロザリオ福祉まつり(聖母療育園父母の会バザー)開催
- 1991(平成3)年 身体障害者療護施設「聖マリア園」を開設  
(現:障害者支援施設「聖マリア園」)
- 1994(平成6)年 知的障害者更生施設「聖家族園」を開設(現:障害者支援施設「聖家族園」)
- 1995(平成7)年 精神障害者等の無認可作業所「ワークセンター」を開所  
(現:就労継続支援B型事業所「ワークセンター」)
- 1997(平成9)年 知的障害者通所授産施設「みんなの家」を開所  
(現:障がい者の就労促進事業所「みんなの家」)  
精神障害者グループホームの運営に着手
- 1998(平成10)年 聖マリアデイサービスセンター開所(現:聖マリア園生活介護)
- 1999(平成11)年 精神障害者地域生活支援センター「友の家」を開所
- 2000(平成12)年 「聖母通園センター」で重症心身障害児者通園事業を開始  
(現:生活介護等事業所)
- 2000(平成12)年 居宅介護支援、訪問介護など老人福祉事業に着手  
(現:ロザリオ高齢者支援センター、ロザリオ訪問介護事業所)
- 2001(平成13)年 佐原市(現:香取市)に知的障害者更生施設「佐原聖家族園」を開設  
(現:障害者支援施設「佐原聖家族園」)
- 2002(平成14)年 地域生活支援センター「さわやかネット」を開所  
(現:中核地域生活支援センター「海匠ネットワーク」)

- 知的障害者更生施設「聖家族作業所」(通所)を開所  
(現:生活介護事業所「聖家族作業所」)
- 2003(平成15)年 佐原聖家族園通所部「つどいの家」を開所  
(現:多機能型事業所「佐原聖家族園つどいの家」)
- 2004(平成16)年 香取ネットワークを開所(2009年4月他法人に移管)
- 2005(平成17)年 和田ハツ江理事長就任(2月23日)
- 2006(平成18)年 香取障害者支援センターを開所  
障害児デイサービス「ふたば保育園」を開所(現:児童発達支援等事業所)  
平成9年から運営のグループホームを統括するグループホーム支援センター  
(現:ナザレの家あさひ)を開所(現:16か所)  
ケアホーム香取・グループホーム香取(現:ナザレの家かとり)を開所(現:4か所)
- 2007(平成19)年 旭障害者支援センターを開所  
東総就業センターを匝瑳市に開所(現:みんなの家併設)
- 2009(平成21)年 細淵宗重理事長就任(11月27日)
- 2011(平成23)年 海上寮に認知症訪問診療室を設置  
香取就業センターを多古町に開所  
デイサービスセンター・ローザを開所  
ロザリオ発達支援センターを開所  
桑島克子理事長就任(6月8日)
- 2012(平成24)年 法人創立60周年(5月29日)、法人ロゴマーク制定(10月22日)
- 2013(平成25)年 旭市こども発達センター開所(旭市委託事業)  
友の家に旭障害者支援センターを吸収、合併  
高萩福祉センター開所(聖ヨセフつどいの家・香取障害者支援センター・  
香取就業センター、7月1日)

**2-4 敷地面積** 104,268.19㎡(前年度104,158.19㎡)  
約31,541.1坪

**2-5 建物面積** 29,812.74㎡(前年度29,655.41㎡)  
約9,018.3坪

**2-6 施設・事業所数** 23カ所(前年度23カ所)

- (1) 入所系事業所 5カ所(前年度5カ所)
- (2) 居住支援系事業所 2カ所(ホーム数23カ所、前年度20カ所)
- (3) 通所・日中活動系事業所 8カ所(前年度8カ所)
- (4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所 8カ所(前年度8カ所)

**2-7 一日当たり利用者数** 883.2人（前年度847.5人、前々年度841.5人）

(1) 入所系事業所 405.6人（前年度423.9人、前々年度428.2人）

(2) 居住支援系事業所 94.0人（前年度84.0人、前々年度84.0人）

(3) 通所・日中活動系事業所  
204.6人（前年度194.8人、前々年度169.9人）

(4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所  
179.0人（前年度144.8人、前々年度159.4人）

**2-8 職員数** 608人（前年度591人、前々年度554人）

(1) 常勤 349人（前年度326人、前々年度309人）

(2) 非常勤 259人（前年度265人、前々年度245人）

### 3 26年度の実施事業（平成27年3月31日現在の定款第1条に基づく事業）

#### 3-1 事業内容

##### （1）第1種社会福祉事業

- ア 医療型障害児入所施設（聖母療育園）
- イ 障害者支援施設（聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）の設置経営

##### （2）第2種社会福祉事業

- ア 医療保護施設 海上療養所の設置経営
- イ 障害児通所支援事業
  - a 児童発達支援（聖母通園センター、ふたば保育園、聖ヨセフつどいの家）
  - b 放課後等デイサービス（聖母通園センター、ふたば保育園、聖ヨセフつどいの家）
  - c 保育所等訪問支援（ロザリオ発達支援センター）
- ウ 障害児相談支援事業（友の家、ロザリオ発達支援センター、香取障害者支援センター）
- エ 老人居宅介護等事業（ロザリオ訪問介護事業所）
- オ 老人デイサービス事業（デイサービスセンター・ローザ）
- カ 老人短期入所事業（聖マリア園）
- キ 障害福祉サービス事業
  - a 居宅介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - b 重度訪問介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 同行援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - d 行動援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - e 療養介護（聖母療育園）
  - f 生活介護（聖母通園センター、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、聖ヨセフつどいの家）
  - g 短期入所（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）
  - h 就労移行支援（みんなの家）
  - i 就労継続支援B型（ワークセンター、みんなの家）
  - j 共同生活援助（ナザレの家あさひ、ナザレの家かとり）
  - k 相談支援（友の家、香取障害者支援センター）
- ク 地域生活支援事業
  - a 相談支援事業（友の家、香取障害者支援センター）
  - b 移動支援事業（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 地域活動支援センターI型（友の家）
  - d 日中一時支援事業（聖母療育園、聖母通園センター、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、聖ヨセフつどいの家）
  - e 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）  
（東総就業センター、香取就業センター）

- f 精神障害者地域移行支援事業（友の家、香取障害者支援センター）
- g 基幹相談支援センター（海匝ネットワーク、香取障害者支援センター）
- ケ 中核地域生活支援センターの受託（海匝ネットワーク）
- コ 千葉県障害児等療育支援事業の受託（聖母療育園、ふたば保育園、佐原聖家族園、  
ロザリオ発達支援センター）
- サ 障害者雇用アドバイザー（企業支援員）事業の受託（東総就業センター、香取就業センター）
- シ 障害者虐待防止センターの受託（海匝ネットワーク、香取障害者支援センター）

(3) 公益事業

- ア 居宅介護支援事業の設置経営（ロザリオ高齢者支援センター）
- イ 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）  
（東総就業センター、香取就業センター）
- ウ 一時保護事業

## 3-2 組織

(Ⅲ 組織図参照)

## 4 26年度重点目標実施報告（下線部は全施設・事業所共通項目）

ロザリオの聖母会では、福祉・医療情勢や法人内の実情を踏まえて26年度に法人及び施設・事業所が取り組むべき課題を次のとおり重点目標として定め、中でも下線を付した項目は全施設・事業所の必須項目に、また、カッコ書きで示したものは福祉系施設・事業所必須項目にしてそれぞれの目標に落とし込むこととした。

また、設定した目標については、8月に見直しや進捗状況の確認を行うことを通じて現場や現実に立脚した着実な遂行を図るよう努力した。

### 4-1 福祉・医療の情勢や動向を注視しつつ施設・事業所の安定的運営に努めた。

#### (1) 情勢（障害者総合支援法、精神保健福祉法や介護保険制度ほか）を踏まえた施設・事業所の課題と展望

法制度の動向や福祉・医療を取り巻く環境の変化等に対応するため、施設・事業所個々の課題を発見して将来を展望した。

##### ①入所系

海上療養所が地域診療部を新設して地域サービスに軸足を移す方向に努力したが、軌道に乗るまでには時間を要することに加えて入院患者減による減収によって経営的に難しい局面を迎える年度となった。

聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園は、補助金や修繕積立金を活用して居室改修や大規模修繕工事等を行って利用者の居住環境向上に努めた。また、地域の拠点として短期入所、中には長期に渡る受け入れも行って地域生活支援に努めた。

##### ②居住系

ナザレの家あさひが「折戸ハウスⅠ、Ⅱ」を開設したほか看護師加算を活用して海上療養所との提携を図り、ナザレの家かとりは「こなぐちハウス」を開設して佐原聖家族園利用者の地域移行推進を図った。

##### ③通所系

ふたば保育園が東日本大震災被災後4年を経て新園舎を建築し、27年度から「ロザリオ発達支援センター」として事業を展開することになった。

開設2年目の聖ヨセフつどいの家は利用率が伸び悩み、27年度に期待をつなぐことになった。

みんなの家は経営安定化のため就労移行事業と就労継続事業B型との定員組み替えを行って新年度に備えた。

その他の各事業所は概ね順調な運営状況だったが、27年度報酬改定によって総じて厳しい運営を迫られることになった。

#### ④訪問・相談系

ロザリオ訪問介護事業所利用者の他害行為によって市民の方を負傷させるという事態を招き、治療や賠償のために半年を要する結果となった。

友の家、香取障害者支援センターは地域や法人内利用者の方に対してサービス等利用計画案の作成に努め、年度末、旭市では100%の達成率を記録した。

海匠ネットワークは現代社会を反映するかのような多様かつ困難な相談事例に取り組んだ。

東総就業センター、香取就業センターはそれぞれの活動実績が認められて27年度に職員を1名加配する措置がとられることになった。

また、相談系事業所は多様な相談窓口を一本化するなど利用者の利便性向上を図るための方策が検討課題となっている。

#### (2) 計画的な人事異動及び中間管理職の育成・登用

施設・事業所横断的人事、及び施設組織図上必要な人事を適正かつ計画的に実施することを通じて軸になる職員の育成、登用を図った。

25年度は人事委員会を立ち上げて26年度人事を検討したが、年度当初一部の異動対象職員が退職するなどの事例が見られた。10月からは内部理事による法人運営会議を週一回開催してその中で人事問題を協議することになり、27年度に向けた人事に関して27年2月、一ヶ月を費やして集中的に検討を行った。

軸になる職員の育成については研修課によって、中間管理職を4グループに分け年4回の全体研修を行った。また、新年度に向けては施設・事業所長推薦により中間管理職の登用を実行した。

#### (3) 安定的な人材確保

医療専門職や新卒採用が困難な状況を打開するための対策に努めるとともに、施設・事業所運営上必須の業務に対する待遇を見直した。

27年度新卒採用は15名を目標に設定して取り組んだ結果、既卒も含めて18名を確保することができた。医療専門職は通常の求人に加えて人材紹介会社にも範囲を拡げているが聖母療育園ほかの看護師不足は解消することができず年度末を迎えるに至った。

なお、海上寮に27年5月から常勤医師が1名着任することになっている。

必須の業務に対する待遇見直しを検討した結果、27年度に相談系事業所の夜間待機手当を増額することになった。

#### (4) 施設・設備の老朽化や環境改善対策の中・長期計画と資金確保

25年度国庫補助及び自主事業により改修工事が進展したが、なお、施設・事業所においては未達成の部分の修繕計画に取り組み、修繕引当金積立の根拠を明確にした。

社会福祉法人の内部留保問題が取りざたされる以前から本会では修繕積立金の根拠にするべく施設・事業所の改修工事10年計画を策定しているが、それに対する必要資金は法人合算で約10億円に上ることが判明した。

その計画に基づいて、聖母療育園が給排水管改修工事、聖マリア園は浄化槽更新工事を実施、佐原聖家族園では居室トイレ改修工事に着手した。また、聖家族園は居室改修工事を2年越しに実施して本年度工事を完了した。ナザレの家かとりでは国庫補助を受けて、まきのハウスにスプリンクラー設備工事を実施した。

#### (5) 社会福祉法人新会計基準への円滑な移行及びチェック体制の強化・充実

新会計基準移行が円滑かつ正確に進むよう努めるとともに専決事項の見直しなどを通じて内部牽制機能の強化・充実を図った。

26年度予算の段階で移行をすませ、定款施行細則の専決事項見直しも実行した。内部監査人による監査は、担当が施設・事業所事務室に出向いて行うなどより実効性を高めた形でコンプライアンス向上に努めた。27年度決算にその成果が現れるよう期待したい。

### 4-2 社会福祉法人に求められる課題を踏まえつつ利用者等のサービスの質向上に努める。

#### (1) 地域医療・福祉への取り組み

地域移行を含めた地域生活支援が病院及び入所系施設に求められる時代認識を深めつつ、それぞれの機能、役割に応じた具体的な地域生活支援の取り組みを実施した。

入所系の海上寮療養所は前述のとおり地域に向けた医療・看護サービスに踏みだした。聖母療育園、聖マリア園は短期入所の受け入れ、聖家族園・佐原聖家族園も短期入所や日中一時支援サービスに取り組むことによって地域サービスの充実に努めた。また、夏期・冬期の特別支援学校長期休業時は通所系事業所も合わせて児童の受け入れを行った。

#### (2) 権利擁護、虐待防止、差別解消に向けた取り組み

権利侵害や虐待行為に対する縦横のチェック機能を強めて防止策の徹底を図るとともに平成28年4月1日施行の「差別解消法」への理解を深めるための取り組みを推進した。

施設・事業所個々では関係研修会への参加を推進し、法人レベルでは秋の中間管理職育成研修で虐待問題を取り上げた。また、12月6日の障害者週間行事においては虐待防止に関するシンポジウムを東総文化会館で実施し、佐藤彰一先生（袖ヶ浦事件第三者検証委員会座長）を招いて学習する機会を持った。

なお、差別解消法に関しては行政からさしたる動きが示されなかったため、27年度の課題となった。



(3) 専門性や特徴のあるサービスの実施（福祉系施設・事業所必須項目）

障害者基本法や障害者総合支援法に謳われる「意思決定支援」のあり方について情報収集に努めるとともに、施設・事業所個々が専門性や特性を踏まえつつ検討を加えた。

法人レベルでは関連文書を施設・事業所会議で紹介する程度にとどまっており、障害者総合支援法施行後3年目見直し規定に則って27年度に示される国からの情報に留意して必要な事項に取り組みたい。

なお、施設・事業所においてはサービス等利用計画案策定にかかる利用者の意思決定を尊重したり、本人の意思や希望に基づいた外出計画を実施したりするなどの具体的な取り組みが見られた。また、海匠ネットワークは厚労省による「入院中の精神障害者の意思決定及び意思の表明に関するモデル事業」に参画した。

(4) 自己評価、第三者評価結果に基づく業務改善及び福祉サービス共通基準2013年改訂版の理解

第三者評価の再受審を進めるとともに、25年秋に実施した自己評価により浮かび上がった施設・事業所の課題を評価、分析して業務改善につなげるよう努めた。また、福祉サービス共通基準2013年版の理解を深めるための対策を講じた。

26年7月、11月、28年3月の新採用職員研修において2013年版の説明を行った。また、11月には全職員が自己評価を行った。

第三者評価については、聖家族作業所が10月に二回目の受審を行った。

(5) サービス提供上必要な事項の全体的点検と基本的事項の遵守

法制度により施設・事業所に対しサービス提供のために必要と定められた事項すべてに渡って法令遵守を徹底するよう努めた。

26年度印旛健康福祉センターによる指導監査が11月27日に実施され、法人及び佐原聖家族園、聖家族園、聖マリア園、聖母療育園の入所施設と海匠ネットワークが対象となった。結果としては概ね適正との評価を受けたが、なお運営規程、身体拘束、その他記録関係に指摘を受けたので個々が改善に向けて取り組んだ。

(6) 研修体制及び内容の充実

研修課主導の法人内研修の充実に加えて、施設職員への公平な研修機会の提供に努めた。

採用年度別研修ではより密度の濃い研修にするために2グループに分けて実施するなどの新たな試みが行われた。

(7) 苦情解決の仕組みの周知徹底と適切な解決

苦情解決の仕組みを職員個々に浸透させて、苦情の迅速、適切な解決を図るとともに、サービス向上のチャンスととらえて前向きな姿勢で取り組むよう徹底した。

26年7月、11月、28年3月の新採用職員研修において苦情解決制度の内容を説明した。実際の苦情に関しては今年度15件が寄せられており、関係施設内訳は入所系6件、通所系4件、居住系4件、相談系1件であった。それぞれ謝罪、説明等を経て了解を得ることができたが、想定原因を見ると15件中9件が職員の態度によるものであったことは注目すべき点であり、接遇態度の改善が課題として残った。

### 4-3 法人の総合的な安全衛生対策の向上を図る

#### (1) 法人全体の防災・防犯対策の向上と地震・津波への備え、施設・事業所における消防法令遵守の徹底に努める

総合安全対策委員会の主導により、月次対策項目を挙げて法人全体で取り組み、また、被災時、緊急時の連絡手段としてメール送信訓練を行って非常時に備えた。

年度末には全施設・事業所がBCPマニュアルの見直しを行った。

#### (2) 利用者等安全対策の向上

本項目も総合安全対策委員会の主導により月次対策の中で向上を図り、8月は「虐待防止」をテーマに掲げた。

#### (3) 安全運転対策の向上

26年6月7日の安全運転講習会は132人（前年131人）の職員が参加する中で行われた。また、春、夏の交通安全週間では中央通りにのぼりを立てて往来する職員の安全運転意識向上を図った。

本年度公用車事故件数は23件を数え前年の26件からは減少したが、一方で、職員自家用車（通勤時等）事故が増加傾向になったのが特長だった。

#### (4) IT・情報管理対策の向上

本部職員からのインフォメーションを活用したアップデート情報などにより端末サイドの対策強化を図った。

## II 決算報告書

### 1. 資金収支計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A) - (B)
事業活動 による収支	事業活動収入計①	3,423,639,150	3,415,412,460	8,226,690
	事業活動支出計②	3,099,143,136	3,066,468,134	32,675,002
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	324,496,014	348,944,326	△ 24,448,312
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	42,795,000	42,793,308	1,692
	施設整備等支出計⑤	210,131,402	209,156,182	975,220
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 167,336,402	△ 166,362,874	△ 973,528
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	46,009,000	45,994,195	14,805
	その他の活動支出計⑧	292,353,000	291,665,100	687,900
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	△ 246,344,000	△ 245,670,905	△ 673,095
予備費支出⑩		0	0	0
当当期資金収支差額合計⑪ = ③ + ⑥ + ⑨ - ⑩		△ 89,184,388	△ 63,089,453	△ 26,094,935
前期末支払資金残高⑫		0	1,485,816,688	△ 1,485,816,688
当期末支払資金残高⑬ = ⑪ + ⑫		△ 89,184,388	1,422,727,235	△ 1,511,911,623

### 2. 事業活動計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A) - (B)
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	3,366,628,557		
	サービス活動費用計②	3,189,652,587		
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	176,975,970		
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	48,813,405		
	サービス活動外費用計⑤	31,055,718		
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	17,757,687		
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		194,733,657		
特別増減の部	特別収益計⑧	60,623,746		
	特別費用計⑨	195,993,642		
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 135,369,896		
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		59,363,761		
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	2,410,457,726		
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	2,469,821,487		
	基本金取崩額⑭	120,000,000		
	その他の積立金取崩額⑮	17,740,750		
	その他の積立金積立額⑯	△ 236,020,004		
次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯		2,371,542,233		

### 3. 貸借対照表

平成27年3月31日 現在

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,660,937,546	1,774,663,864	△ 113,726,318	流動負債	258,795,983	303,812,237	△ 45,016,254
固定資産	5,616,311,645	5,440,172,616	176,139,029	固定負債	516,298,748	525,391,686	△ 9,092,938
				負債の部合計	775,094,731	829,203,923	△ 54,109,192
				純資産の部			
				基本金	1,510,831,864	1,624,923,496	△ 114,091,632
				国庫補助金等特別積立金	1,380,018,691	1,328,768,917	51,249,774
				その他の積立金	1,239,761,672	1,021,482,418	218,279,254
				次期繰越活動増減差額	2,371,542,233	2,410,457,726	△ 38,915,493
				(うち当期活動増減差額)	59,363,761	0	59,363,761
				純資産の部合計	6,502,154,460	6,385,632,557	116,521,903
資産の部合計	7,277,249,191	7,214,836,480	62,412,711	負債及び純資産の部合計	7,277,249,191	7,214,836,480	62,412,711

## 4. 資金収支内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引削除	法人合計
事業活動 による収支	事業活動収入計①	3,364,145,103	51,454,177	3,415,599,280	△ 186,820	3,415,412,460
	事業活動支出計②	3,019,028,930	47,626,024	3,066,654,954	△ 186,820	3,066,468,134
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	345,116,173	3,828,153	348,944,326	0	348,944,326
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	42,793,308	0	42,793,308	0	42,793,308
	施設整備等支出計⑤	204,706,582	4,449,600	209,156,182	0	209,156,182
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 161,913,274	△ 4,449,600	△ 166,362,874	0	△ 166,362,874
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	45,145,190	4,000,000	49,145,190	△ 3,150,995	45,994,195
	その他の活動支出計⑧	290,064,850	4,751,245	294,816,095	△ 3,150,995	291,665,100
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	△ 244,919,660	△ 751,245	△ 245,670,905	0	△ 245,670,905
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		△ 61,716,761	△ 1,372,692	△ 63,089,453	0	△ 63,089,453
前期末支払資金残高⑪		1,477,123,867	8,692,821	1,485,816,688	0	1,485,816,688
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		1,415,407,106	7,320,129	1,422,727,235	0	1,422,727,235

## 5. 事業活動内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引削除	法人合計
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	3,315,423,370	51,390,707	3,366,814,077	△ 185,520	3,366,628,557
	サービス活動費用計②	3,141,006,377	48,832,330	3,189,838,707	△ 186,120	3,189,652,587
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	174,416,993	2,558,377	176,975,370	600	176,975,970
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	48,751,235	63,470	48,814,705	△ 1,300	48,813,405
	サービス活動外費用計⑤	31,035,250	21,168	31,056,418	△ 700	31,055,718
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	17,715,985	42,302	17,758,287	△ 600	17,757,687
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		192,132,978	2,600,679	194,733,657	0	194,733,657
特別増減の部	特別収益計⑧	63,774,741	0	63,774,741	△ 3,150,995	60,623,746
	特別費用計⑨	195,993,642	3,150,995	199,144,637	△ 3,150,995	195,993,642
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 132,218,901	△ 3,150,995	△ 135,369,896	0	△ 135,369,896
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		59,914,077	△ 550,316	59,363,761	0	59,363,761
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	2,407,086,341	3,371,385	2,410,457,726	0	2,410,457,726
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	2,467,000,418	2,821,069	2,469,821,487	0	2,469,821,487
	基本金取崩額⑭	120,000,000	0	120,000,000	0	120,000,000
	その他の積立金取崩額⑮	13,740,750	4,000,000	17,740,750	0	17,740,750
	その他の積立金積立額⑯	△ 235,020,004	△ 1,000,000	△ 236,020,004	0	△ 236,020,004
次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯		2,365,721,164	5,821,069	2,371,542,233	0	2,371,542,233

## 6. 貸借対照表内訳表

平成27年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引削除	法人合計
流動資産		1,622,531,748	38,625,498	1,661,157,246	△ 219,700	1,660,937,546
固定資産		5,587,524,800	28,786,845	5,616,311,645	0	5,616,311,645
資産の部合計		7,210,056,548	67,412,343	7,277,468,891	△ 219,700	7,277,249,191
流動負債		227,710,314	31,305,369	259,015,683	△ 219,700	258,795,983
固定負債		511,749,718	4,549,030	516,298,748	0	516,298,748
負債の部合計		739,460,032	35,854,399	775,314,431	△ 219,700	775,094,731
基本金		1,490,894,989	19,936,875	1,510,831,864	0	1,510,831,864
国庫補助金等特別積立金		1,380,018,691	0	1,380,018,691	0	1,380,018,691
その他の積立金		1,233,961,672	5,800,000	1,239,761,672	0	1,239,761,672
次期繰越活動増減差額		2,365,721,164	5,821,069	2,371,542,233	0	2,371,542,233
(うち当期活動増減差額)		59,914,077	△ 550,316	59,363,761	0	59,363,761
純資産の部合計		6,470,596,516	31,557,944	6,502,154,460	0	6,502,154,460
負債及び純資産の部合計		7,210,056,548	67,412,343	7,277,468,891	△ 219,700	7,277,249,191

## 7. 社会福祉事業区分一資金収支内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		(1)法人本部	(2)海上療養所	(3)ワークセンター	(4)聖母療育園	(5)聖母通園センター	(6)ふたば保育園
事業活動 による収支	事業活動収入計①	76,046,447	926,605,481	55,228,217	541,188,085	52,281,406	23,094,261
	事業活動支出計②	91,967,749	917,828,853	44,539,756	492,693,328	45,517,767	24,886,278
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	△ 15,921,302	8,776,628	10,688,461	48,494,757	6,763,639	△ 1,792,017
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	0	0	0	0	505,000	35,408,368
	施設整備等支出計⑤	2,540,414	17,439,470	219,240	24,660,200	1,010,000	83,692,932
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 2,540,414	△ 17,439,470	△ 219,240	△ 24,660,200	△ 505,000	△ 48,284,564
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	149,905,103	15,964,752	109,620	1,833,041	0	59,720,000
	その他の活動支出計⑧	130,586,115	66,975,725	7,699,250	60,945,125	4,476,500	2,121,250
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	19,318,988	△ 51,010,973	△ 7,589,630	△ 59,112,084	△ 4,476,500	57,598,750
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		857,272	△ 59,673,815	2,879,591	△ 35,277,527	1,782,139	7,522,169
前期末支払資金残高⑪		422,268,370	209,090,431	14,065,694	191,830,601	13,100,863	13,904,181
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		423,125,642	149,416,616	16,945,285	156,553,074	14,883,002	21,426,350

(単位:円)

勘定科目		(7)旭市こども発達センター	(8)ロザリオ発達支援センター	(9)聖マリア園	(10)聖家族園	(11)みんなの家	(12)聖家族作業所
事業活動 による収支	事業活動収入計①	15,690,545	17,596,122	340,277,374	282,447,219	128,017,113	94,974,424
	事業活動支出計②	15,410,301	14,121,268	294,228,424	221,763,792	113,227,490	69,842,573
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	280,244	3,474,854	46,048,950	60,683,427	14,789,623	25,131,851
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	0	0	130,000	0	0	0
	施設整備等支出計⑤	0	0	29,606,686	8,005,264	3,227,580	3,541,440
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	0	0	△ 29,476,686	△ 8,005,264	△ 3,227,580	△ 3,541,440
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	0	0	2,575,765	1,727,347	1,676	0
	その他の活動支出計⑧	121,500	394,250	19,039,250	53,540,620	10,267,000	21,290,500
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	△ 121,500	△ 394,250	△ 16,463,485	△ 51,813,273	△ 10,265,324	△ 21,290,500
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		158,744	3,080,604	108,779	864,890	1,296,719	299,911
前期末支払資金残高⑪		82,297	11,178,678	114,667,288	90,795,016	58,750,791	44,560,248
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		241,041	14,259,282	114,776,067	91,659,906	60,047,510	44,860,159

(単位:円)

勘定科目		(13)ナザレの家あさひ	(14)ロザリオ訪問介護事業所	(15)デイサービスセンター・ローザ	(16)佐原聖家族園	(17)聖ヨセフつどいの家	(18)ナザレの家かとり
事業活動 による収支	事業活動収入計①	214,757,904	43,978,300	35,308,782	327,676,420	62,203,391	46,134,049
	事業活動支出計②	179,531,097	39,551,451	29,122,930	245,739,505	61,252,848	38,995,735
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	35,226,807	4,426,849	6,185,852	81,936,915	950,543	7,138,314
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	0	0	0	2,500,000	0	4,220,000
	施設整備等支出計⑤	5,463,166	0	0	14,610,188	1,197,000	7,043,002
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 5,463,166	0	0	△ 12,110,188	△ 1,197,000	△ 2,823,002
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	0	0	0	751,625	4,250,000	0
	その他の活動支出計⑧	29,480,625	2,870,000	407,875	70,275,875	624,250	3,440,000
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	△ 29,480,625	△ 2,870,000	△ 407,875	△ 69,524,250	3,625,750	△ 3,440,000
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		283,016	1,556,849	5,777,977	302,477	3,379,293	875,312
前期末支払資金残高⑪		82,959,764	31,062,560	9,925,675	108,353,888	11,631,856	16,534,302
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		83,242,780	32,619,409	15,703,652	108,656,365	15,011,149	17,409,614

(単位：円)

勘定科目		(19)友の家	(20)海匠ネットワーク	(21)東総就業センター(福祉)	(22)香取障害者支援センター	(23)香取就業センター(福祉)
事業活動 による収支	事業活動収入計①	35,250,980	43,585,788	10,794,628	17,263,640	9,650,606
	事業活動支出計②	34,561,301	42,394,116	10,487,796	17,667,574	9,603,077
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	689,679	1,191,672	306,832	△ 403,934	47,529
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	0	0	0	29,940	0
	施設整備等支出計⑤	2,450,000	0	0	0	0
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 2,450,000	0	0	29,940	0
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	1,495,079	32,333	1,814,070	348,089	3,566,925
	その他の活動支出計⑧	382,250	693,000	283,000	176,000	2,925,125
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	1,112,829	△ 660,667	1,531,070	172,089	641,800
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		△ 647,492	531,005	1,837,902	△ 201,905	689,329
前期末支払資金残高⑪		19,362,456	5,640,772	1,801,954	2,833,706	2,722,476
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		18,714,964	6,171,777	3,639,856	2,631,801	3,411,805

(単位：円)

勘定科目		合計	内部取引削除	事業区分合計
事業活動 による収支	事業活動収入計①	3,400,051,182	△ 35,906,079	3,364,145,103
	事業活動支出計②	3,054,935,009	△ 35,906,079	3,019,028,930
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	345,116,173	0	345,116,173
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	42,793,308	0	42,793,308
	施設整備等支出計⑤	204,706,582	0	204,706,582
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 161,913,274	0	△ 161,913,274
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	244,095,425	△ 198,950,235	45,145,190
	その他の活動支出計⑧	489,015,085	△ 198,950,235	290,064,850
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	△ 244,919,660	0	△ 244,919,660
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		△ 61,716,761	0	△ 61,716,761
前期末支払資金残高⑪		1,477,123,867	0	1,477,123,867
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		1,415,407,106	0	1,415,407,106

## 8. 社会福祉事業区分—事業活動内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位：円)

勘定科目		(1)法人本部	(2)海上療養所	(3)ワークセンター	(4)聖母療育園	(5)聖母通園センター	(6)ふたば保育園
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	54,376,300	914,808,642	54,924,104	529,840,105	52,063,510	23,092,991
	サービス活動費用計②	98,922,746	963,427,001	46,194,274	510,655,542	48,294,734	26,337,804
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	△ 44,546,446	△ 48,618,359	8,729,830	19,184,563	3,768,776	△ 3,244,813
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	21,699,649	11,796,839	304,113	11,347,980	217,896	1,270
	サービス活動外費用計⑤	6,821,803	6,155,526	0	3,871,370	100,950	35,280
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	14,877,846	5,641,313	304,113	7,476,610	116,946	△ 34,010
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		△ 29,668,600	△ 42,977,046	9,033,943	26,661,173	3,885,722	△ 3,278,823
特別増減の部	特別収益計⑧	114,905,355	13,235,700	109,620	0	505,000	47,408,368
	特別費用計⑨	74,362,624	28,040,002	1,360,000	43,405,356	5,566,375	37,081,797
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	40,542,731	△ 14,804,302	△ 1,250,380	△ 43,405,356	△ 5,061,375	10,326,571
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		10,874,131	△ 57,781,348	7,783,563	△ 16,744,183	△ 1,175,653	7,047,748
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	770,081,959	429,047,487	48,286,870	262,126,404	△ 1,309,124	16,790,558
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	780,956,090	371,266,139	56,070,433	245,382,221	△ 2,484,777	23,838,306
	基本金取崩額⑭	120,000,000	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額⑮	20,750	0	0	0	0	12,720,000
	その他の積立金積立額⑯	△ 73,330,004	0	△ 6,010,000	0	△ 3,800,000	△ 2,000,000
次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯		827,646,836	371,266,139	50,060,433	245,382,221	△ 6,284,777	34,558,306

(単位：円)

勘定科目		(7)旭市こども発達センター	(8)ロザリオ発達支援センター	(9)聖マリア園	(10)聖家族園	(11)みんなの家	(12)聖家族作業所
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	15,674,300	17,118,520	337,310,164	278,055,225	124,870,053	94,834,104
	サービス活動費用計②	15,619,043	14,311,268	303,046,006	228,238,156	118,016,830	75,882,053
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	55,257	2,807,252	34,264,158	49,817,069	6,853,223	18,952,051
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	16,245	477,602	2,967,210	4,391,994	3,147,060	140,320
	サービス活動外費用計⑤	0	0	3,111,424	3,065,227	0	0
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	16,245	477,602	△ 144,214	1,326,767	3,147,060	140,320
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		71,502	3,284,854	34,119,944	51,143,836	10,000,283	19,092,371
特別増減の部	特別収益計⑧	0	0	129,999	0	0	0
	特別費用計⑨	0	220,000	31,591,057	25,875,073	5,681,699	6,779,547
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	0	△ 220,000	△ 31,461,058	△ 25,875,073	△ 5,681,699	△ 6,779,547
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		71,502	3,064,854	2,658,886	25,268,763	4,318,584	12,312,824
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	373,106	11,250,866	150,397,133	129,727,220	66,960,472	82,848,135
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	444,608	14,315,720	153,056,019	154,995,983	71,279,056	95,160,959
	基本金取崩額⑭	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額⑮	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額⑯	0	0	△ 4,550,000	△ 41,000,000	△ 6,030,000	△ 14,800,000
	次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯	444,608	14,315,720	148,506,019	113,995,983	65,249,056	80,360,959

(単位：円)

勘定科目		(13)ナザレの家あさひ	(14)ロザリオ訪問介護事業所	(15)デイサービスセンター・ローザ	(16)佐原聖家族園	(17)聖ヨセフつどいの家	(18)ナザレの家かとり
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	212,212,909	43,023,508	35,204,418	323,339,559	59,265,230	46,041,041
	サービス活動費用計②	186,290,640	38,878,373	32,460,852	252,856,197	62,995,970	39,073,424
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	25,922,269	4,145,135	2,743,566	70,483,362	△ 3,730,740	6,967,617
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	2,544,995	954,792	104,364	4,336,861	2,938,161	93,008
	サービス活動外費用計⑤	815,945	977,779	0	4,364,450	1,683,317	10,022
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	1,729,050	△ 22,987	104,364	△ 27,589	1,254,844	82,986
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		27,651,319	4,122,148	2,847,930	70,455,773	△ 2,475,896	7,050,603
特別増減の部	特別収益計⑧	0	0	0	2,500,000	1,000,000	4,220,000
	特別費用計⑨	6,471,477	621,755	220,000	41,147,573	220,000	6,160,000
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 6,471,477	△ 621,755	△ 220,000	△ 38,647,573	780,000	△ 1,940,000
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		21,179,842	3,500,393	2,627,930	31,808,200	△ 1,695,896	5,110,603
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	154,961,994	31,119,017	51,591,409	95,154,798	62,291,464	16,759,338
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	176,141,836	34,619,410	54,219,339	126,962,998	60,595,568	21,869,941
	基本金取崩額⑭	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額⑮	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額⑯	△ 24,000,000	△ 2,000,000	0	△ 56,000,000	0	△ 1,500,000
	次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯	152,141,836	32,619,410	54,219,339	70,962,998	60,595,568	20,369,941

(単位：円)

勘定科目		(19)友の家	(20)海匠ネットワーク	(21)東総就業センター(福祉)	(22)香取障害者支援センター	(23)香取就業センター(福祉)
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	35,098,450	43,241,900	10,776,432	17,259,640	9,630,221
	サービス活動費用計②	34,885,306	42,843,865	10,238,386	17,495,485	9,283,355
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	213,144	398,035	538,046	△ 235,845	346,866
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	152,530	343,888	18,196	4,000	20,385
	サービス活動外費用計⑤	0	0	312,410	0	374,893
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	152,530	343,888	△ 294,214	4,000	△ 354,508
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		365,674	741,923	243,832	△ 231,845	△ 7,642
特別増減の部	特別収益計⑧	0	0	1,814,070	29,939	916,925
	特別費用計⑨	879,542	220,000	220,000	0	2,870,000
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 879,542	△ 220,000	1,594,070	29,939	△ 1,953,075
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		△ 513,868	521,923	1,837,902	△ 201,906	△ 1,960,717
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	15,607,787	5,661,375	1,801,954	2,833,708	2,722,411
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	15,093,919	6,183,298	3,639,856	2,631,802	761,694
	基本金取崩額⑭	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額⑮	1,000,000	0	0	0	0
	その他の積立金積立額⑯	0	0	0	0	0
	次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯	16,093,919	6,183,298	3,639,856	2,631,802	761,694

(単位：円)

勘定科目		合計	内部取引削除	事業区分合計
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	3,332,061,326	△ 16,637,956	3,315,423,370
	サービス活動費用計②	3,176,247,310	△ 35,240,933	3,141,006,377
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	155,814,016	18,602,977	174,416,993
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	68,019,358	△ 19,268,123	48,751,235
	サービス活動外費用計⑤	31,700,396	△ 665,146	31,035,250
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	36,318,962	△ 18,602,977	17,715,985
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		192,132,978	0	192,132,978
特別増減の部	特別収益計⑧	186,774,976	△ 123,000,235	63,774,741
	特別費用計⑨	318,993,877	△ 123,000,235	195,993,642
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 132,218,901	0	△ 132,218,901
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		59,914,077	0	59,914,077
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	2,407,086,341	0	2,407,086,341
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	2,467,000,418	0	2,467,000,418
	基本金取崩額⑭	120,000,000	0	120,000,000
	その他の積立金取崩額⑮	13,740,750	0	13,740,750
	その他の積立金積立額⑯	△ 235,020,004	0	△ 235,020,004
	次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯	2,365,721,164	0	2,365,721,164

## 9. 社会福祉事業区分一貸借対照表内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位：円)

勘定科目	(1)法人本部	(2)海上寮療養所	(3)ワークセンター	(4)聖母療育園	(5)聖母通園センター	(6)ふたば保育園
流動資産	432,139,654	182,113,347	20,579,385	180,092,101	15,938,884	65,302,538
固定資産	1,455,749,907	818,575,659	62,102,114	733,856,809	71,554,629	87,855,051
資産の部合計	1,887,889,561	1,000,689,006	82,681,499	913,948,910	87,493,513	153,157,589
流動負債	11,155,796	39,363,583	3,026,888	22,139,027	2,309,610	45,291,608
固定負債	141,125,967	227,996,811	3,295,915	33,575,505	10,163,130	34,168,750
負債の部合計	152,281,763	267,360,394	6,322,803	55,714,532	12,472,740	79,460,358
基本金	515,092,069	298,022,008	0	157,352,887	47,866,244	5,908,368
国庫補助金等特別積立金	36,957,221	64,040,465	20,288,263	205,099,270	29,639,306	29,230,557
その他の積立金	355,911,672	0	6,010,000	250,400,000	3,800,000	4,000,000
次期繰越活動増減差額	827,646,836	371,266,139	50,060,433	245,382,221	△ 6,284,777	34,558,306
(うち当期活動増減差額)	10,874,131	△ 57,781,348	7,783,563	△ 16,744,183	△ 1,175,653	7,047,748
純資産の部合計	1,735,607,798	733,328,612	76,358,696	858,234,378	75,020,773	73,697,231
負債及び純資産の部合計	1,887,889,561	1,000,689,006	82,681,499	913,948,910	87,493,513	153,157,589

(単位：円)

勘定科目	(7)旭市こども発達センター	(8)ロザリオ発達支援センター	(9)聖マリア園	(10)聖家族園	(11)みんなの家	(12)聖家族作業所
流動資産	1,608,555	14,282,594	144,628,061	105,784,780	69,795,726	48,686,083
固定資産	767,567	1,882,419	564,480,078	429,243,454	119,478,777	170,119,053
資産の部合計	2,376,122	16,165,013	709,108,139	535,028,234	189,274,503	218,805,136
流動負債	1,367,514	25,912	29,948,684	14,192,054	9,080,890	3,836,644
固定負債	564,000	1,638,190	25,535,060	13,059,320	4,787,375	4,411,160
負債の部合計	1,931,514	1,664,102	55,483,744	27,251,374	13,868,265	8,247,804
基本金	0	0	155,036,968	93,433,735	29,467,407	29,050,212
国庫補助金等特別積立金	0	185,191	220,971,408	199,647,142	30,959,775	29,846,161
その他の積立金	0	0	129,110,000	100,700,000	49,730,000	71,300,000
次期繰越活動増減差額	444,608	14,315,720	148,506,019	113,995,983	65,249,056	80,360,959
(うち当期活動増減差額)	71,502	3,064,854	2,658,886	25,268,763	4,318,584	12,312,824
純資産の部合計	444,608	14,500,911	653,624,395	507,776,860	175,406,238	210,557,332
負債及び純資産の部合計	2,376,122	16,165,013	709,108,139	535,028,234	189,274,503	218,805,136



(単位：円)

勘定科目	(13)ナザレの家 あさひ	(14)ロザリオ 訪問介護事業所	(15)デイサービス センター・ローザ	(16)佐原聖家族園	(17)聖ヨセフ つどいの家	(18)ナザレの家 かとり
流動資産	97,488,050	33,058,969	16,287,463	121,952,298	15,857,977	24,810,732
固定資産	175,846,934	13,424,840	40,556,187	606,482,031	240,053,983	22,147,839
資産の部合計	273,334,984	46,483,809	56,843,650	728,434,329	255,911,960	46,958,571
流動負債	15,242,047	476,899	583,811	18,315,583	5,036,828	7,412,588
固定負債	7,324,430	1,287,500	1,040,500	39,164,190	19,987,500	0
負債の部合計	22,566,477	1,764,399	1,624,311	57,479,773	25,024,328	7,412,588
基本金	14,493,033	0	0	130,106,491	0	0
国庫補助金等特別積立金	35,233,638	0	0	285,885,067	170,292,064	4,176,042
その他の積立金	48,900,000	12,100,000	1,000,000	184,000,000	0	15,000,000
次期繰越活動増減差額	152,141,836	32,619,410	54,219,339	70,962,998	60,595,568	20,369,941
(うち当期活動増減差額)	21,179,842	3,500,393	2,627,930	31,808,200	△ 1,695,896	5,110,603
純資産の部合計	250,768,507	44,719,410	55,219,339	670,954,556	230,887,632	39,545,983
負債及び純資産の部合計	273,334,984	46,483,809	56,843,650	728,434,329	255,911,960	46,958,571

(単位：円)

勘定科目	(19)友の家	(20)海匠ネット ワーク	(21)東総就業 センター(福祉)	(22)香取障害者 支援センター	(23)香取就業 センター(福祉)
流動資産	21,253,573	6,273,095	18,821,832	2,856,662	22,087,846
固定資産	35,705,064	4,066,591	182,125	1,953,251	115,438
資産の部合計	56,958,637	10,339,686	19,003,957	4,809,913	22,203,284
流動負債	2,538,609	126,318	15,181,976	224,861	20,001,041
固定負債	3,775,720	4,030,070	182,125	1,953,250	1,358,250
負債の部合計	6,314,329	4,156,388	15,364,101	2,178,111	21,359,291
基本金	15,065,567	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金	17,484,822	0	0	0	82,299
その他の積立金	2,000,000	0	0	0	0
次期繰越活動増減差額	16,093,919	6,183,298	3,639,856	2,631,802	761,694
(うち当期活動増減差額)	△ 513,868	521,923	1,837,902	△ 201,906	△ 1,960,717
純資産の部合計	50,644,308	6,183,298	3,639,856	2,631,802	843,993
負債及び純資産の部合計	56,958,637	10,339,686	19,003,957	4,809,913	22,203,284

(単位：円)

勘定科目	合計	内部取引削除	事業区分合計
流動資産	1,661,700,205	△ 39,168,457	1,622,531,748
固定資産	5,656,199,800	△ 68,675,000	5,587,524,800
資産の部合計	7,317,900,005	△ 107,843,457	7,210,056,548
流動負債	266,878,771	△ 39,168,457	227,710,314
固定負債	580,424,718	△ 68,675,000	511,749,718
負債の部合計	847,303,489	△ 107,843,457	739,460,032
基本金	1,490,894,989	0	1,490,894,989
国庫補助金等特別積立金	1,380,018,691	0	1,380,018,691
その他の積立金	1,233,961,672	0	1,233,961,672
次期繰越活動増減差額	2,365,721,164	0	2,365,721,164
(うち当期活動増減差額)	59,914,077	0	59,914,077
純資産の部合計	6,470,596,516	0	6,470,596,516
負債及び純資産の部合計	7,317,900,005	△ 107,843,457	7,210,056,548

## 10. 公益区分—資金収支内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		(24)ロザリオ 高齢者支援センター	(25)東総就業 センター(公益)	(26)香取就業 センター(公益)	合計	内部取引削除	事業区分合計
事業活動 による収支	事業活動収入計①	20,393,772	15,854,292	15,206,113	51,454,177	0	51,454,177
	事業活動支出計②	17,686,615	15,448,112	14,491,297	47,626,024	0	47,626,024
	事業活動資金収支差額③ = ① - ②	2,707,157	406,180	714,816	3,828,153	0	3,828,153
施設整備等 による収支	施設整備等収入計④	0	0	0	0	0	0
	施設整備等支出計⑤	4,449,600	0	0	4,449,600	0	4,449,600
	施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	△ 4,449,600	0	0	△ 4,449,600	0	△ 4,449,600
その他の活動 による収支	その他の活動収入計⑦	4,000,000	0	0	4,000,000	0	4,000,000
	その他の活動支出計⑧	1,637,750	1,999,570	1,113,925	4,751,245	0	4,751,245
	その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	2,362,250	△ 1,999,570	△ 1,113,925	△ 751,245	0	△ 751,245
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨		619,807	△ 1,593,390	△ 399,109	△ 1,372,692	0	△ 1,372,692
前期末支払資金残高⑪		6,700,322	1,593,390	399,109	8,692,821	0	8,692,821
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪		7,320,129	0	0	7,320,129	0	7,320,129

## 11. 公益区分—事業活動内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		(24)ロザリオ 高齢者支援センター	(25)東総就業 センター(公益)	(26)香取就業 センター(公益)	合計	内部取引削除	事業区分合計
サービス活動 増減の部	サービス活動収益計①	20,330,302	15,854,292	15,206,113	51,390,707	0	51,390,707
	サービス活動費用計②	18,510,421	15,633,612	14,688,297	48,832,330	0	48,832,330
	サービス活動増減差額③ = ① - ②	1,819,881	220,680	517,816	2,558,377	0	2,558,377
サービス活動外 増減の部	サービス活動外収益計④	63,470	0	0	63,470	0	63,470
	サービス活動外費用計⑤	21,168	0	0	21,168	0	21,168
	サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	42,302	0	0	42,302	0	42,302
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥		1,862,183	220,680	517,816	2,600,679	0	2,600,679
特別増減の部	特別収益計⑧	0	0	0	0	0	0
	特別費用計⑨	420,000	1,814,070	916,925	3,150,995	0	3,150,995
	特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	△ 420,000	△ 1,814,070	△ 916,925	△ 3,150,995	0	△ 3,150,995
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩		1,442,183	△ 1,593,390	△ 399,109	△ 550,316	0	△ 550,316
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	1,378,886	1,593,390	399,109	3,371,385	0	3,371,385
	当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	2,821,069	0	0	2,821,069	0	2,821,069
	基本金取崩額⑭	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額⑮	4,000,000	0	0	4,000,000	0	4,000,000
	その他の積立金積立額⑯	△ 1,000,000	0	0	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000
次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯		5,821,069	0	0	5,821,069	0	5,821,069

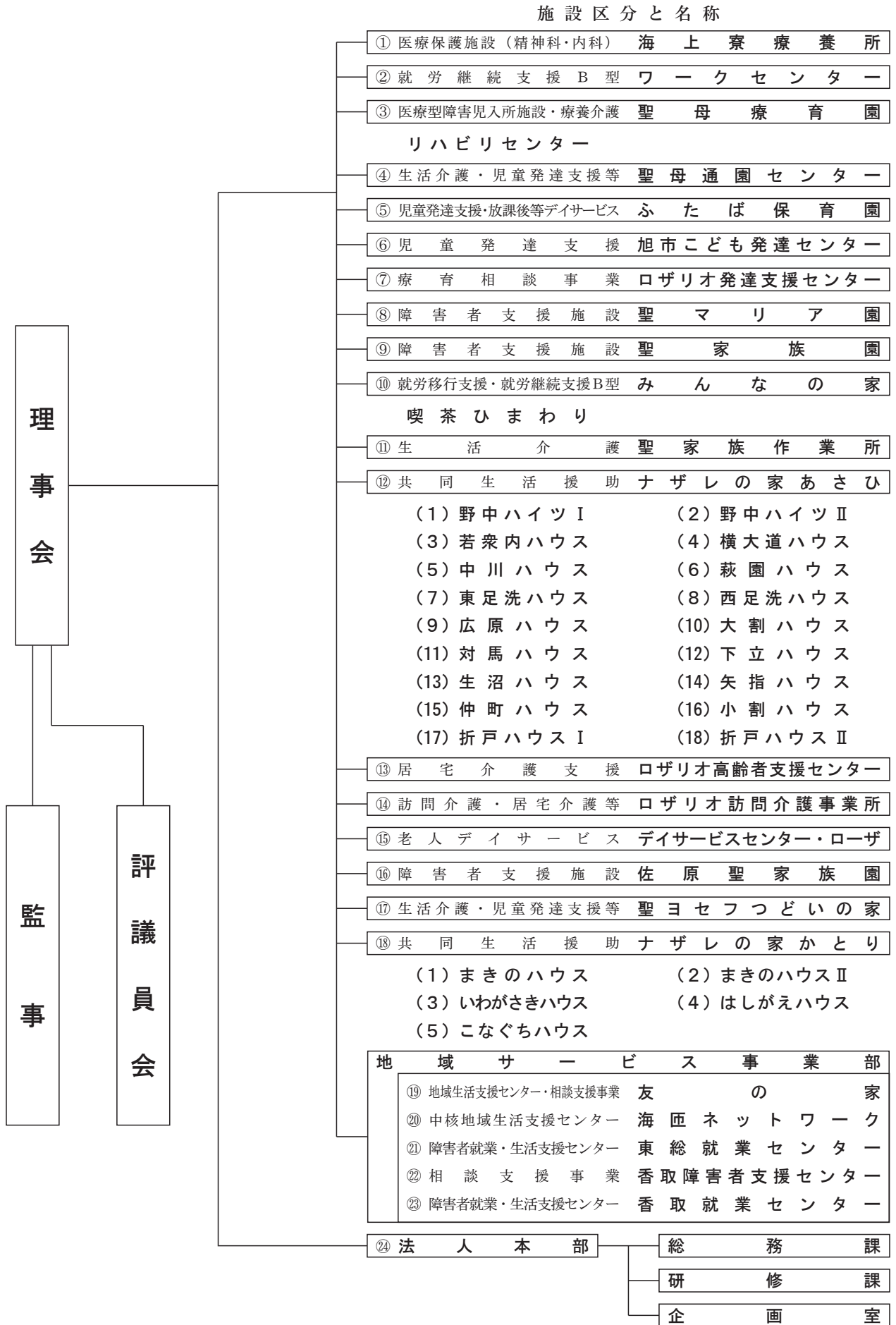
## 12. 公益区分—貸借対照表内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		(24)ロザリオ 高齢者支援センター	(25)東総就業 センター(公益)	(26)香取就業 センター(公益)	合計	内部取引削除	事業区分合計
流動資産		7,565,093	15,854,292	15,206,113	38,625,498	0	38,625,498
固定資産		26,312,345	1,312,500	1,162,000	28,786,845	0	28,786,845
資産の部合計		33,877,438	17,166,792	16,368,113	67,412,343	0	67,412,343
流動負債		244,964	15,854,292	15,206,113	31,305,369	0	31,305,369
固定負債		2,074,530	1,312,500	1,162,000	4,549,030	0	4,549,030
負債の部合計		2,319,494	17,166,792	16,368,113	35,854,399	0	35,854,399
基本金		19,936,875	0	0	19,936,875	0	19,936,875
その他の積立金		5,800,000	0	0	5,800,000	0	5,800,000
次期繰越活動増減差額		5,821,069	0	0	5,821,069	0	5,821,069
(うち当期活動増減差額)		1,442,183	△ 1,593,390	△ 399,109	△ 550,316	0	△ 550,316
純資産の部合計		31,557,944	0	0	31,557,944	0	31,557,944
負債及び純資産の部合計		33,877,438	17,166,792	16,368,113	67,412,343	0	67,412,343

### III 組織図 (平成27年3月31日現在)



社会福祉法人ロザリオの聖母会  
理事長 桑島 克子 様

## 監 査 報 告 書

平成27年5月22日付で、平成26年度の理事の業務執行状況、事業報告及び決算書の内容について監査したところ、概ね良好に処理されていると認められたのでここに報告します。

平成27年5月22日

監 事

高野 丈天



監 事

加藤 博

